
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第5号

平成13
(2001)
年度

2001

序

本年報は宮崎県埋蔵文化財センターが平成11年度に実施した各種事業の成果をまとめたものです。

宮崎県埋蔵文化財センターは、平成8年の独立以来6年目を迎え、東九州自動車道関連の調査事業も西都～清武間の現地発掘調査を終了し、現在都農～西都間の発掘調査が行われております。又、平成12年4月1日から組織改正があり課制となり、体制が充実しました。

埋蔵文化財をとりまく環境には、依然きびしいものがありますが、当センターとしましても、発掘調査のみならず教育普及の分野でも一層の成果をあげるよう努力いたしますので、関係各位のご理解とご援助をお願いいたします。

平成13年9月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 矢野 剛

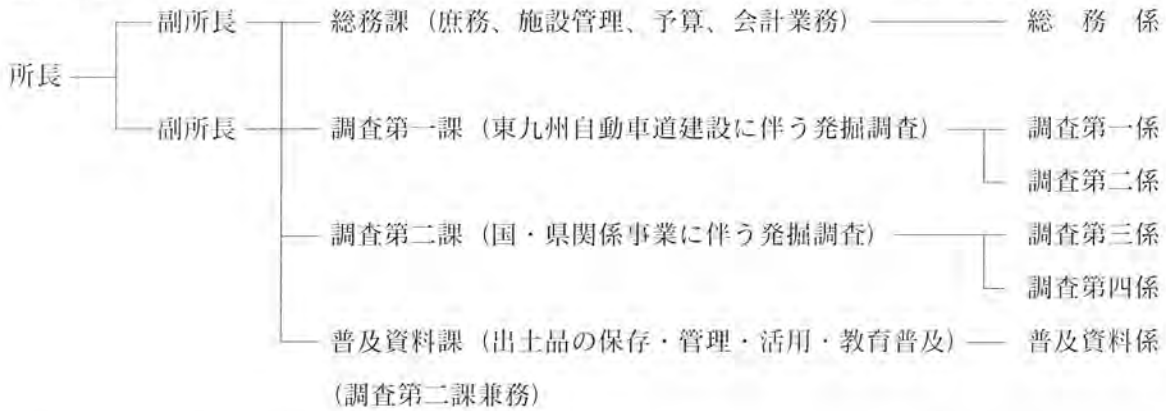
目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成12年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	8
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	10
(4)	保存処理	13
(5)	収蔵整理	13
2	教育普及活動	14
(1)	展 示	14
(2)	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	15
(3)	施設公開	16
(4)	埋蔵文化財専門職員研修会	16
(5)	現地説明会	17
(6)	広報出版物	17
(7)	資料等の提供	17
(8)	研修・体験学習等の受入れ	20
(9)	会議・職員研修	21
(10)	職員派遣	22
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	23

I 組織・施設

組 織

(平成13年4月1日現在)



所 長	矢 野 剛	主任主事	阿 部 直 人 (嘱託)	調 査 員	高 木 祐 志
副 所 長	菊 地 茂 仁	主任主事	小 山 博	調 査 員	高 落 合 賢 一
副 所 長	岩 永 哲 夫	主任主事	高 橋 浩 子	調 査 員	安 楽 哲 史
総務課		主 事	藤 木 聡	調 査 員	安 金 丸 史 絵 子
(兼)課長	菊 地 茂 仁 (嘱託)			調 査 員	成 相 景 子
総務係		調 査 員	日 高 敬 子	調 査 員	成 相 景 子
係 長	亀 井 維 子	調 査 員	松 尾 有 年	調 査 第 二 課	
主任主事	上 野 広 宣	調 査 員	可 児 直 典	(兼)課長	岩 永 哲 夫
主任主事	平 田 ユミ子	調 査 員	辻 弥 生	調 査 第 三 係	
(高速道対策局・併)		調 査 員	小 宇 都 あずさ	係 長	菅 付 和 樹 士 之 典 光 充
主 査	三 谷 美 徳	調 査 第 二 係		主 査	南 正 覚 雅 泰 典 光 充
調 査 第 一 課		係 長	長 津 宗 重	主 査	杉 田 中 斐 貴
課 長	面 高 哲 郎	主 査	南 中 道 孝 博	主 査	福 田 甲 斐 貴
調 査 第 一 係		主 事	堀 田 通 久 (嘱託)	主 査	丹 俊 詞 樹 久 美 子
係 長	谷 口 武 範	(高速道対策局・併)	横 田 通 久	調 査 員	丹 古 屋 限 久 美 子
主 査	山 田 洋 一 郎	主 査	永 田 成 公 美 恵	調 査 員	津 隈 久 美 子
(高速道対策局・併)		主 査	大 村 健 一 樹 明 雄 幸 文 昭 典 志 一 志 行	整 理 専 門 員	
主 査	戸 高 幸 作	主 査	山 下 田 山 草 外 吉 長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	調 査 第 四 係	
主 査	渡 部 高 行	主 査	原 栗 草 外 吉 長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	係 長	永 柳 友 良 典 一 二 俊 人
主 査	新 町 芳 靖 浩 二 志 昇 二 一 成 孝 学	主 査	栗 草 外 吉 長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	主 査	永 柳 友 良 典 一 二 俊 人
主 査	倉 藤 真 博	主 査	外 吉 長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	主 査	玉 橋 本 高 広 人
主 査	安 山 口 賢 博 周 清	主 査	吉 長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	主 査	橋 本 高 広 人
主 査	大 山 口 賢 博 周 清	主 査	長 吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	主 査	日 高 景 子
主 査	山 尾 園 山 戸 田 藤	主 査	吉 成 福 下 今 塩 屋 毅	(嘱託)	
主 査	永 鶴 松 加	主 査	成 福 下 今 塩 屋 毅	調 査 員	工 藤 基 志 子 宏
主 査	松 加	主 査	福 下 今 塩 屋 毅	調 査 員	柳 重 留 康
主任主事	加 藤 孝 学	主任主事	下 今 塩 屋 毅	調 査 員	

施設

(佐土原本館) 宮崎県佐土原町大字下那珂4019

構造 鉄筋コンクリート造・木造平屋一部2階

床面積 2,119.67㎡

本館	1,745.99㎡	付属建物	373.68㎡
事務室	57.76㎡	整理作業棟	202.00㎡
所長室	19.68㎡	器材庫	47.50㎡
情報処理室	33.17㎡	その他	124.18㎡
会議室	78.52㎡		
休憩室	78.52㎡		
調査・研究室	248.55㎡		
復元整理室	293.44㎡		
一次処理室	96.81㎡		
図面整理室	61.62㎡		
写場	64.20㎡		
暗室	12.65㎡		
一次保管室(2層)	188.00㎡		
図書室(2層)	193.88㎡		
荷捌室	43.01㎡		
その他	276.00㎡		

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

構造 鉄筋コンクリート造2階

床面積 1,649.0㎡

1階	一次処理室	121.2㎡	2階	写場・暗室	49.4㎡
	復元整理室	148.3㎡		写真保管室	35.1㎡
	保存処理室	49.3㎡		図面保管室	53.1㎡
	鉄器	26.6㎡		収蔵整理室	19.3㎡
	木器	22.7㎡		収蔵室	564.0㎡
	研修室	143.2㎡		特別収蔵室	54.0㎡
	事務室	41.8㎡			
	展示室	150.0㎡			
	器材庫	11.0㎡			

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年 月 日	事 項
1980	昭和55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7. 29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、 兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」（講師：国立 民族学博物館教授佐々木高明）。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	茂山転出、菅付和樹転入
1985	60.11. 2	文化財保護協調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群－遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平成 1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳－遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡－資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82-'91」を開催す る。脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第1係、 第2係、教育普及係（第2係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第1係（東九 州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12. 2. 15 12. 4. 1 12. 9. 30	佐土原に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。 分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1	職員59名、非常勤職員16名となる。

Ⅲ 平成12年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の発掘調査及び研究
- 2 出土品その他の資料の保存活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係わる図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財保護思想の普及啓発

平成12年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う分布調査や確認調査、発掘調査を実施している。平成12年度は吉野遺跡（延岡市）、音明寺第1遺跡（高鍋町）、西畦原第1遺跡（新富町）、八幡遺跡（都城市）など24遺跡の本調査と東九州自動車道建設関連の20遺跡の確認調査を実施した。

確認調査一覧

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構遺物
1	音明寺第1	旧石器・縄文	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.4.13~4.18 6.5~6.14	8,500	戸高・渡部 横田・和田 藤木・金丸	旧石器～礫群 縄文～集石遺構
2	勘大寺	旧石器	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.4.13~4.18 7.19~7.28	16,900	草薙・山下 倉蘭・松田 田中・工藤	旧石器～剥片
3	西畦原第2	旧石器・縄文	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.6.5~6.8 9.20~10.5	18,300	草薙・福松 山下・栗山 戌亥・工藤	旧石器～石器 縄文～焼石
4	永牟田第2		新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.6.5~6.12 8.1~8.4	24,600	草薙・山下 倉蘭・松田 大村・工藤	なし
5	西畦原第1	弥生	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.6.5~6.13 7.24~8.3 9.19~9.29	21,800	南中道・ 大村・新町 永田・丹	弥生～土器
6	音明寺第2	旧石器	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.6.5~6.14 7.24~8.1	16,800	松田・永野 都成・山口 秋成	旧石器～礫群、ナイフ形石器

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構遺物
7	野首第2	縄文・弥生	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.6.10~6.26 8.21~8.22 9.28~10.13	11,700	福松・阿部外山・今塩屋・松尾	縄文～集石遺構、土器（早期・後期） 弥生～竪穴住居
8	唐木戸第3	旧石器・縄文	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.6.19~6.22	2,900	松田・永野都成・山口秋成	旧石器～剥片 縄文～集石遺構
9	唐木戸第4	旧石器・縄文	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.6.19~6.27	4,100	戸高・渡部横田・藤木金丸	旧石器～スクレーパー、剥片 縄文～集石遺構
10	下耳切第3	縄文・古墳	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.6.19~6.28	22,500	福松・阿部外山・松尾	縄文～集石遺構、縄文土器（早期）
11	北牛牧第5	旧石器	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.6.19~6.28 8.7~8.23 10.2~10.11	27,800	草薙・倉崗山下・工藤	旧石器～礫群、土坑
12	藤山第2	縄文	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.7.24~8.4	2,200	戌亥・尾関下西・高木	縄文～集石遺構
13	東畦原第3	旧石器・弥生	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.7.24~8.4 9.20~9.29	9,000	戸高・渡部横田・藤木松尾・金丸	旧石器～礫群 弥生～磨製石鏃
14	一丁田	縄文	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.8.7~8.11	14,900	山口・松田永野・大村	旧石器～礫群
15	牧内第1	旧石器	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.8.7~8.11	5,800	松田・山下栗山	旧石器～ピット群
16	牧内第2	旧石器	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.8.7~8.11	8,000	山口・松田永野・大村	旧石器～礫群
17	野首第1	縄文	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.8.7~8.21	6,800	福松・阿部外山・松尾	縄文～集石遺構、土器（早期）
18	向原第1		新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.14~9.29	15,300	戸高・草薙倉崗	なし
19	宮ノ前		新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.25~9.27	200	福松・阿部	なし
20	永牟田第1		新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.30~10.6	5,100	山下・松田	なし

発掘調査一覧

遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構遺物
1 下耳切第3	縄文・古墳～古代	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.9.4～H13.3.31	7,000	永田 和久 都成 量 今塩屋毅行 丹 俊詞 高木 祐志	縄文(中期) 竪穴住居 3 古墳～古代 竪穴住居65 古墳 2、地下式横穴墓 8 掘立柱建物19
2 音明寺第1	旧石器、縄文、中世	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.4～H13.3.31	2,800	戸高 幸作 渡部誠一郎 外山 宏幸 工藤 基志 金丸 史絵	旧石器 礫群 縄文(早期) 集石遺構 中世 道路状遺構 9、 畦状遺構
3 音明寺第2	旧石器、不明	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.4～H13.2.21	2,300	山口 昇 永野 高行 金丸 史絵 東 徹司	旧石器 礫群 5 時期不明 道路状遺構 4
4 藤山第2	縄文	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.9.4～H13.1.9	1,000	戌亥 浩志 尾園 賢二 下西 武志 高木 祐志	縄文(早期) 集石遺構 3 縄文(前期) 縄文土器、 中世 溝状遺構 1
5 北牛牧第5	旧石器、縄文、中世	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.10.30～H13.3.31	10,000	草薙 良雄 倉蘭 靖浩 大村公美恵 栗山 正明	旧石器 礫群 縄文(早期) 集石遺構 中世 溝状遺構
6 西畦原第1	旧石器、縄文、弥生	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.11.1～H13.3.31	3,200	南中道 隆 新町 芳伸 秋成 雅博	旧石器 礫群1 縄文(早期) 集石遺構 3 弥生 竪穴住居 3、掘立柱建物 1
7 東畦原第3	旧石器、縄文	新富町大字新田	東九州自動車道建設	H12.11.6～H13.3.31	5,400	横田 通久 福松 東一 阿部 直人 松尾 有年	旧石器 ピット群
8 牧内第1	旧石器	高鍋町大字上江	東九州自動車道建設	H12.11.6～H13.3.31	2,400	松田 清孝 山下 健一 崎田 一郎	旧石器 礫群 4 縄文(早期) 集石遺構 1
9 鶴尾	中世	都城市今町	農用地総合整備	H12.4.3～5.31	1,500	福田 泰典 橋川 敬子	縄文 縄文土器 弥生 弥生土器 中世 畠跡、水田跡、土師器、滑石製石鍋、磁器、砥石
10 大岩田上村	旧石器、縄文、弥生、中世	都城市大岩田町	農用地総合整備	H12.4.12～10.11	15,000	南正覚雅士 松本 茂 堀田 孝博	旧石器 細石器 縄文(後晩期) 住居跡、 石鏃、土器 弥生 掘立柱建物、土壘、 弥生土器 中世 溝状遺構、陶磁器

遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構・遺物
1 1	下那珂 旧石器、縄文、弥生	佐土原町大字下那珂	県総合農業試験場本場果樹園造成	H12.4.12 ~5.31	5,000	甲斐 貴光 堀田 孝博 安楽 哲史 松永 幸寿	旧石器 細石器 縄文 集石遺構、連結土壙、縄文土器、石斧、石鏃 弥生 住居跡、弥生土器、鉄鏃、虺龍文鏡土製勾玉
12	沖ノ田 古墳~古代	宮崎市大字跡江	主要地方道南俣宮崎線道路改良	H12.4.27 ~7.19	1,184	鈴木 健二 橋本 英俊 安楽 哲史	古墳~古代・中世 水田区画、水口遺構、水田畦畔、土師器、陶磁器
13	坂ノ下 (鶴尾第2)	都城市今町	農用地総合整備	H12.5.8 ~8.31	1,600	福田 泰典 加藤 学 橋川 敬子 松本 茂	縄文 縄文土器 弥生 住居跡、弥生土器 中世 畠跡、土師器
14	祇園原 古墳	新富町大字新田	県道木城西都線一時間構想道路整備	H12.5.8 ~8.3	4,480	柳田 宏一 松永 幸寿	古墳 土師器、須恵器、溝状遺構、ビット
15	林 旧石器・中世・近世	延岡市伊形町	延岡道路建設	H12.6.8 ~7.31	720	日高 広人 橋川 敬子	旧石器 ナイフ形石器、三稜尖頭器 縄文 集石遺構、土壙 近世 道路状遺構、陶磁器、鉄滓、瓦
16	教塚 古代	高千穂町大字田原	国道325号道路改良	H12.7.3 ~10.4	1,500	甲斐 貴光 安楽 哲史	中世・近世~近代? 石組遺構、経筒、陶磁器、銭貨
17	マンパ ル城跡 近世	高千穂町大字河内	国道325号道路改良	H12.7.3 ~10.4	2,000	甲斐 貴光 安楽 哲史	近世 道路跡
18	野首第 1 旧石器・縄文・古墳、古代、中世・近世	高鍋町大字上江	県道木城高鍋線改良	H12.7.3 ~12.15	3,500	田中 光 藤木 聡 秋成 雅博	縄文 礫群、炉穴、土壙、集石遺構 古墳 古墳、竪穴住居、溝状遺構、掘立柱建物、土壙
19	瀬戸前 1号横 穴 古墳	宮崎市大字瓜生野	主要地方道宮崎西環状線改良	H12.7.24 ~9.20	30	菅原 和樹 新町 芳伸 栗山 正明 吉本 正典	古墳 横穴墓、直刀、刀子、鉄鏃、馬具、やりがんな、袋状鉄斧、耳環、須恵器、土師器
20	笹の都 旧石器、縄文	高千穂町大字岩戸	県道緒方高千穂線道路改良	H12.10.2 ~12.14	500	甲斐 貴光 安楽 哲史 松本 茂	縄文 集石遺構、縄文土器、石鏃、尖頭器、細石核、敲石、石皿 弥生 弥生土器

遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構・遺物
21 吉野	旧石器、縄文(早期)	延岡市吉野町	延岡道路建設	H12.10.10 ～H13.3.27	2,587	日高 広人 松永 幸寿	旧石器 ナイフ形石器、三稜尖頭器、細石器 縄文 礫群、土壙、集石遺構、炉穴、石斧、スクレイパー、縄文土器 古墳 住居跡、須恵器、土師器 近世 墓、銭貨、人骨
22 上日置城空堀跡	旧石器、縄文、中世	新富町大字日置	一般県道日置南高鍋線地方特定道路整備	H12.10.23 ～H13.1.30	790	福田 泰典 堀田 孝博 橋川 敬子	中世 城郭関連遺構(空堀跡、堀底部造成面等) 縄文土器、弥生土器、土師皿、陶磁器
23 春日地区遺跡第2地点	旧石器、縄文	新富町大字新田	県道木城西都線一時間構想道路整備	H12.11.17 ～H13.2.28	1,260	柳田 宏一 加藤 学 松本 茂	旧石器 ナイフ形石器、細石刃、石核 縄文 礫群、集石遺構、縄文土器、スクレイパー、石鏃、石斧、石錘他
24 八幡	近世～	都城市八幡町	都城裁判所合同庁舎建替え	H12.12.18 ～H13.3.30	800	南正覚雅士 甲斐 貴光 堀田 孝博	近世 家老屋敷関連遺構(地下室)、陶磁器、瓦、茶臼、銭貨

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、はっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

調査指導

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
奈良国立文化財研究所 文部技官 牛嶋 茂	木脇・町屋敷遺跡出土遺物 写真撮影指導	埋蔵文化財センター	H12.8.2 ～8.4
佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課資料係長 家田 淳一	迫内・本城遺跡出土陶磁器 指導	埋蔵文化財センター	H12.8.29 ～8.31
宮崎大学教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指 導(古墳・集落)	下耳切第3遺跡	H12.12.18
熊本大学文学部 助教授 小畑 弘巳	東九州自動車道関連調査指 導(旧石器)	埋蔵文化財センター 東畦原第3遺跡	H13.3.13 ～3.14
奈良大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指 導(縄文)	埋蔵文化財センター 音明寺第1遺跡	H13.3.13 ～3.14
鹿児島大学法文学部 助教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指 導(縄文・弥生)	埋蔵文化財センター 音明寺第1遺跡	H13.3.13 ～3.14

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター 西畦原第1遺跡	H13.3.13 ~3.14
宮崎大学教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡	H13.3.13
奈良女子大学文学部 教授 広瀬 和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生~古代)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡	H13.3.13 ~3.14
別府大学文学部 教授 橋 昌信	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	埋蔵文化財センター 音明寺第2遺跡	H13.3.21 ~3.22
福岡大学人文学部 教授 小田富士雄	東九州自動車道関連調査指導 (古墳・集落)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡	H13.3.22 ~3.23
長崎大学文学部 教授 長岡 信治	東九州自動車道関連調査指導 (地質)	埋蔵文化財センター 北牛牧第5遺跡	H13.3.26 ~3.27
防衛大学校 講師 山近久美子	東九州自動車道関連調査指導 (古代官道)	埋蔵文化財センター 木城町、川南町	H13.3.29 ~3.30
西都原古墳研究所 所長 日高 正晴	東九州自動車道関連調査指導 (地下式横穴墓)	下耳切第3遺跡	H13.3.30

資料調査等

目 的	出張先	日 程	出張者
祇園原遺跡出土遺物関連調査	奈良市 (奈良国立文化財研究所)	H12.7.6 ~7.7	永友 良典
教塚遺跡出土遺物関連調査	島根県松江市	H12.9.28 ~9.29	菅村 和樹
林遺跡出土遺物関連資料調査 (旧石器時代・近世獣骨)	鹿児島市	H12.10.7 ~10.8	日高 広人
祇園原遺跡出土遺物関連資料調査 (縄文時代)	鹿児島市	H12.10.7 ~10.8	柳田 宏一
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資料調査 (陶磁器関係)	沖縄県壺屋焼物博物館、沖縄県立博物館	H12.10.12 ~10.13	吉本 正典 下西 武志
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資料調査 (城館関係)	山梨県立考古博物館、甲府城跡地	H12.11.9 ~11.10	崎田 一郎
龍泉寺遺跡・柿迫遺跡報告書作成関連資料調査	福岡市岡元遺跡群、福岡市埋蔵文化財センター他	H13.1.29 ~1.31	大村公美恵 福松 東一
中尾遺跡報告書作成関連資料調査	福岡市岡元遺跡群、福岡市埋蔵文化財センター他	H13.1.29 ~1.31	高橋 浩子
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資料調査 (火山灰関係)	鹿児島県桐木遺跡、都城市坂元遺跡	H13.2.15	面高 哲郎 松田 清孝 阿部 直人 高木 祐司
吉野遺跡出土遺物関連調査 (旧石器時代・縄文時代)	長崎県長崎市、東彼杵町	H13.2.21 ~2.23	松永 幸寿

目 的	出張先	日 程	出張者
大岩田上村遺跡出土遺物関連調査 (旧石器時代・縄文時代)	長崎県長崎市、東彼杵町	H13.2.21 ～2.23	南正覚雅士 松本 茂
笹の都遺跡出土遺物関連調査 (旧石器時代・縄文時代)	長崎県長崎市、東彼杵町	H13.2.21 ～2.23	甲斐 貴光
上日置城跡出土遺物関連調査	鹿児島県知覧町、人來町、東市来町、 鹿児島市、始良町	H13.2.27 ～3.1	鈴木 健二 福田 泰典 橋川 敬子 堀田 孝博
野首第1遺跡報告書作成に伴う資料調査 (縄文時代・古墳時代)	北九州市考古博物館、豊前国分寺跡、 福岡市博物館他	H13.2.28 ～3.2	田中 光 藤木 聡
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料 調査(弥生関係)	行橋市歴史資料館、福岡市埋蔵文化財 センター、坂付遺跡他	H13.2.28 ～3.2	南中道 隆 秋成 雅博
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資 料調査	福岡市岡元町遺跡群、福岡市埋蔵文化 財センター他	H13.3.1 ～3.2	松田 清孝 上野 広宣
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料 調査(旧石器関係)	大分県早水台遺跡、別府大学付属博物 館他	H13.3.6 ～3.8	山口 昇 山田洋一郎
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料 調査(縄文時代関係)	大分市横尾遺跡、大分県立歴史博物館 他	H13.3.6 ～3.8	戸高 幸作 戌亥 浩志
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料 調査(古墳時代・古代関係)	千葉県柴崎遺跡、下野国分寺遺跡他	H13.3.7 ～3.9	鳥原 孝仙 今塩屋毅行 丹 俊詞
鶴尾第2遺跡出土遺物関連調査	京都市、奈良県橿原市、大阪府泉南市	H13.3.7 ～3.9	加藤 学 橋川 敬子
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資 料調査(中世山城関係)	京都市考古資料館、上ノ庄田窯跡他	H13.3.7 ～3.9	橋本 英俊
東九州自動車道関連報告書作成に伴う資 料調査(縄文時代・收藏関係)	滋賀県安土城考古博物館、奈良県橿原 考古学研究所博物館	H13.3.7 ～3.9	竹井真知子
埋蔵文化財発掘調査実施状況調査	鹿児島県鹿児島市、始良町、伊集院町	H13.3.26 ～3.27	矢野 剛 岩永 哲夫 倉永 英季

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成12年度に整理を実施した遺跡は35遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び青島バイパス等国、公団、公社からの受託事業が17遺跡、県土木事務所関係10遺跡、県農政水産部関係5遺跡、県教育委員会関係2遺跡、市町村事業1遺跡である。

そのうち整理作業を終了した32遺跡については発掘調査報告書を刊行し、大岩田遺跡(農用地総合整備事業)および東九州自動車道建設(都農～西都間)関連の8遺跡については概要報告を刊行した。

出土遺物等整理実施遺跡一覧

遺跡名	事業名	事業者
林遺跡・吉野遺跡	延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡工事事務所
鳥廻遺跡	西都簡易裁判所改築工事	福岡高等裁判所
蔵座村遺跡	国営尾鈴農業水利事業	農水省九州農政局宮崎農業水利事務所
王子原遺跡・黒瀬戸遺跡 虎崩遺跡	国営大淀川右岸農業水利事業	農水省九州農政局都城盆地農業水利事務所
東九州自動車道関係	東九州自動車道建設（西都～清武）	日本道路公団九州支社宮崎工事事務所
大岩田上村遺跡 鶴尾遺跡・鶴尾第2遺跡 蓑原遺跡・中尾遺跡 梅北佐土原遺跡	農用地総合整備事業	緑資源公団九州支社都城建設事務所
柿迫遺跡・龍泉寺遺跡	倉岡ニュータウン土地区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
枯木迫遺跡	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
井尻遺跡・雀田遺跡 沖ノ田遺跡	主要地方道皆南俣宮崎線道路改良工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
南学原遺跡	県道福王寺佐土原線建設工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
内城跡	国道219号道路改築事業（春田バイパス）	宮崎県土木部宮崎土木事務所
瀬戸前1号横穴	主要地方道宮崎西環状線道路改築工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
元地原遺跡	地方特定道路都農綾線整備事業	宮崎県土木部西都土木事務所
本城原遺跡	主要地方道都城野尻線道路改良工事	宮崎県土木部小林土木事務所
志戸平遺跡・頭田遺跡	鬼付女川河川改修工事	宮崎県土木部高鍋土木事務所
下那珂遺跡	県総合農業試験場本場果樹園造成事業	宮崎県農政水産部農政企画課
大野原遺跡・五ヶ村遺跡	西臼杵3期地区広域営農団地農道建設	宮崎県総務部西臼杵支庁
布平遺跡・古城遺跡	西臼杵2期地区広域営農団地農道建設	宮崎県総務部西臼杵支庁
西都原古墳群	西都原古墳群保存整備事業	宮崎県教育庁文化課
寺崎遺跡	国衙跡保存整備基礎調査	宮崎県教育庁文化課
速日峰地区遺跡	速日峰地区県営ほ場整備事業	北方町教育委員会

発掘調査報告書刊行一覧

	巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者	備考
1	発掘調査報告書 第30集	・内宮田遺跡 ・柳迫遺跡 ・中別府遺跡	東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	高橋 祐二 江田 誠	
2	発掘調査報告書 第31集	・木城村古墳27号、 60号横穴墓	宮崎県児湯郡木城町所在の古墳時代の横穴墓	竹井眞知子	
3	発掘調査報告書 第32集	・梅ヶ島遺跡 ・大辻屋敷遺跡	東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ	小山 博 福松 東一	
4	発掘調査報告書 第33集	・権現原第2遺跡 ・杉木原遺跡 ・永ノ原遺跡	東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ	日高 裕司 高山 富雄 山田洋一郎 日高 広人	

	巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者	備考
5	発掘調査報告書 第34集	・本城原遺跡	主要地方道都城野尻線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	福田 泰典	
6	発掘調査報告書 第35集	・井尻遺跡 ・雀田遺跡 ・沖ノ田遺跡	主要地方道南俣宮崎線道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	山口 昇 南中道 隆 橋本 英俊	
7	発掘調査報告書 第36集	・嶋廻遺跡	西都簡易裁判所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	南正覚雅士	
8	発掘調査報告書 第37集	・元地原遺跡	地方特定道路整備事業都農綾線元知原工区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	鈴木 健二	
9	発掘調査報告書 第38集	・大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」区画整理(今町団地)に伴う発掘調査概要	南正覚雅士 堀田 孝博 松本 茂	
10	発掘調査報告書 第39集	・町屋敷遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書V	崎田 一郎 鳥原 孝仙	
11	発掘調査報告書 第40集	・上ノ迫遺跡	東九州自動車道建設(西都～清武間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書VI	藤木 聡	
12	発掘調査報告書 第41集	・虎崩・榎木田遺跡 ・黒勢戸・上示野原遺跡	国営都城盆地農業水利事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	吉本 正典 高橋 浩子	
13	発掘調査報告書 第42集	・梅北佐上原遺跡 ・中尾遺跡 ・箕原遺跡	農用地整備事業「都城区域」農業用道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	甲斐 貴光 高橋 浩子 鈴木 健二	
14	発掘調査報告書 第43集	・木脇遺跡 <small>(旧石器時代～弥生時代編) (古墳時代～中世編)</small>	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書VII	倉永 英季	
15	発掘調査報告書 第44集	・松元遺跡 ・井手口遺跡 ・塚原遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書VIII	柳田 益宏 竹井眞知子 江田 誠 面高 哲郎 松原 宗一	
16	発掘調査報告書 第45集	・王子原遺跡	国営都城盆地農業水利事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	高橋 誠	
17	発掘調査報告書 第46集	・志戸平遺跡(3次) ・頭田遺跡	鬼付女川河川改良事業に伴う発掘調査報告書	和田 理啓 高橋 誠	
18	発掘調査報告書 第47集	・権現原第1遺跡 ・下星野遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書IX	鳥原 孝仙 柳田 宏一	
19	発掘調査報告書 第48集	・倉岡第2遺跡	東九州自動車道建設(西都～清武間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書X	日淺 雅道	

	巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者	備考
20	発掘調査報告書 第49集	・下耳切第3遺跡 ・北牛牧第5遺跡 ・牧内第1遺跡 ・音明寺第1遺跡 ・音明寺第2遺跡 ・東畦原第3遺跡 ・西畦原第1遺跡 ・藤山第2遺跡	平成12年度 東九州自動車道(都農～西都間) 関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書1	今堀屋毅行 草薙 良雄 松田 清孝 戸高 幸作 山口 昇 福松 東一 南中道 隆 戌亥 浩志 吉本 正典	

(4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。

保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備考
鉄器保存 処理室	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機			1983	
	精密噴射加工機	バリープラスト50N	トーフ技研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタANDARD	関東機器株式会社	1993	
	軟X線装置	ソフテックスSPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機		日立製作所	1983	
	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	
木器保存 処理室	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	
	卓上バキュームシーラー	SQ-202	サランラップ販売	1991	SQドレン付
復元処理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影装置付
写場	赤外線TVカメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

(5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。また、全国から寄贈された発掘調査報告書や購入図書、雑誌等についても台帳を作成し図書室に配置している。これらの資料類を関連づけて検索できるデータベースの構築が今後の課題となっている。

a. 発掘調査資料

平成12年度までにセンターに収蔵された資料はコンテナ数で約1,000箱を数える。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ、収蔵棚の項目を設け各々に番号を付し、必要な資料について検索できるようにしている。平成12年度現在、遺物実測図については95遺跡、遺構実測図については72遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

平成12年度収蔵整理実施遺跡一覧

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	荒迫遺跡	高原町	2	鶴野内中水流遺跡	東郷町
3	内屋敷遺跡	小林市	4	上牧第2遺跡	都城市
5	母智丘原第2遺跡	都城市	6	牧の原第2遺跡	都城市
7	上の原第2遺跡	宮崎市・清武町	8	上の原第1遺跡	宮崎市

b. 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成12年度は3,097冊の受け入れがあり、累計収蔵数は34,097冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

センター展示部門では、神宮分館展示コーナーにおいて常設展示およびコーナー展示をおこなっており、あわせて遺物整理作業を見学できるようにもなっている。「コーナー展」は年5回開催し最新の発掘成果を速報的に展示した。また、毎月第4土曜日には県総合博物館研修室を中心に埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催した。11月の文化財保護強調週間には第1回みやざき文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・埋蔵文化財センターの5館が参加）の事業の一環として神宮分館で「施設公開」を実施した。また、東九州自動車道開通記念行事等に参加し東九州自動車道関連遺跡発掘調査成果を展示公開した。

(1) 展示

・常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史

文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説

・コーナー展

展示テーマ	展示期間	展示内容
発掘調査速報展 (平成10年度の発掘調査)	H11.6.10 ～ H12.4.20	迫穴2号横穴墓・倉岡遺跡（宮崎市）、内屋敷遺跡（小林市）上の原第3遺跡（清武町）の出土遺物等の展示および調査成果の紹介
発掘調査の成果展Ⅰ (平成11年度の発掘調査 および報告書作成遺跡)	H12.4.20 ～ H12.7.14	石用遺跡・友尻遺跡（宮崎市）、竹ノ内遺跡（清武町）の出土遺物等の展示および調査成果の紹介

展示テーマ	展示期間	展 示 内 容
発掘調査の成果展2 (平成11年度の発掘調査 および報告書作成遺跡)	H12.7.20 ～H12.10.15	右葛ヶ迫遺跡(宮崎市)の出土遺物等の展示および調査成果の紹介
発掘調査の成果展3 (平成11年度の発掘調査 および報告書作成遺跡)	H12.10.18 ～H13.1.21	大島畠田遺跡(都城市)、寺崎遺跡(西都市)、余り田遺跡(宮崎市)の出土遺物等の展示および調査成果の紹介
発掘調査の成果展4 (平成11年度の発掘調査 および報告書作成遺跡)	H13.1.25 ～H13.4.15	上の原第1・第2・第4遺跡(宮崎市・清武町)、白ヶ野第3遺跡B地区(清武町)の出土遺物の展示および調査成果の紹介

・東九州自動車道関連発掘調査成果展示

日本道路公団お客様感謝イベントと東九州自動車道(西都～宮崎西インター)の開通イベントに参加して東九州自動車道関連遺跡の発掘調査成果を展示公開した。

事業名	展示会場	展示期日	展 示 遺 物
日本道路公団お客様感謝イベント	霧島サービスエリア	H12.10.27	長蘭原遺跡出土旧石器遺物、塚原遺跡出土縄文土器(赤彩土器)、白ヶ野遺跡出土縄文時代土器、本城跡出土陶磁器ほか
東九州自動車道西都～宮崎西間開通イベント	西都インターチェンジ	H13.3.25	長蘭原遺跡出土旧石器遺物、塚原遺跡出土縄文土器(赤彩土器)、木脇遺跡出土古墳時代土器、町屋敷遺跡水田跡出土遺物ほか

(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時30分から3時まで講座を実施している。講師は県文化課、県内市町村専門職員、埋蔵文化財センター職員等がつとめ、平成12年度は「古代/奈良・平安時代の生活と文化」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

	開催日	講座の内容	講 師	講者	会 場
1	H12.4.22	日向の国のはじまり	宮崎県埋蔵文化財センター	小山 博	56名 総合博物館研修室
2	5.27	古代のくらし	宮崎県埋蔵文化財センター	柳田 宏一	48 総合博物館研修室
3	6.24	古代の集落	宮崎県埋蔵文化財センター	長津 宗重	52 総合博物館研修室
4	7.22	文字の世界	宮崎産業経営大学	柴田 博子	46 総合博物館研修室
5	8.26	古代の役所	宮崎県埋蔵文化財センター	吉本 正典	41 総合博物館研修室
6	9.23	古代の道	宮崎県埋蔵文化財センター	堀田 孝博	38 総合博物館研修室
7	10.28	シンポジウム「日向における平安時代の様相」(次頁参照)		139	県民文化ホール
8	11.25	水田と畠	宮崎県埋蔵文化財センター	久木田浩子	30 総合博物館研修室
9	12.23	古代の土器とその生産	宮崎県文化課	松林 豊樹	30 総合博物館研修室
10	H13.1.27	陶磁器からみた地域交流		大盛 祐子	35 総合博物館研修室
11	2.24	古代から中世へ	宮崎県埋蔵文化財センター	福田 泰典	28 総合博物館研修室
12	3.24	考古学と文献	宮崎県立宮崎養護学校	若山 浩章	29 総合博物館研修室

・シンポジウム

10月の講座はシンポジウム形式で県民文化ホールにおいて開催した。

テーマ：「日向における平安時代の様相」－近年の発掘調査の成果から－

開催日時：平成12年10月28日（土）午前10時～午後4時

開催場所：宮崎県総合博物館県民文化ホール

参加料：無料

講師および講演内容

坂井秀弥（文化庁）	「遺跡から見た平安時代の村と社会、その変容」
永山修一（ラ・サール高校）	「文献から見た平安時代の日向」
谷口武範（宮崎県文化課）	県内の平安時代の遺跡「集落」と「館」
吉本正典（宮崎県埋蔵文化財センター）	県内の平安時代の遺跡「役所」と「寺」

パネルディスカッション

司会：柴田 博子（宮崎産業経営大学）

パネラー：講師全員

Q (3) 施設公開

毎年、11月の文化財保護強調週間には神宮分館で「施設公開」を実施しているが、今年は第1回みやぎ文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・県埋蔵文化財センターの5館の共同開催）の事業の一環として11月3日～5日の3日間実施した。

開催日	内 容	参加者数
12.11.3（金） ～11.5（日） 9：00～17：00	<ul style="list-style-type: none"> ・整理作業の実演（土器片洗浄、土器や石器の実測実演、ニシオグラフによる実測） ・実体顕微鏡で火山灰や土器に含まれている鉱物を見る。 ・赤外線 TV で土器に書かれた文字を見る。 ・軟 X 線装置で錆に覆われた鉄器や鏡などを観察する。 ・体験作業 土器の文様を墨で紙に写し取る（拓本） 壊れた土器を復元する（復元） 押形文や貝殻文を復元する（施文） ・復元した土器の展示 ・平成11年度刊行の報告書の閲覧 ・ビデオ上映 「名探偵コナン 縄文体験やってみよう」 「日本列島の夜明け ～狩猟から稲作へ」 「なぞの国ヤマタイ国の女王 ヒミコ」 「大むかしの生活」「検証 縄文の部」 「古墳の時代」「三内丸山 縄文の輝き」 「大陸文化をとりいれた強大な権力者 蘇我馬子」 「コンピューターグラフィックで見る古代都市」 	334名

(4) 埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当者専門職員を対象とした研修を実施している。

内 容	場 所	日 程	参加者数
埋蔵文化財担当職員研修会 「遺物実測のノウハウ・パート1（土器編）」 <1日目> 事例報告 竹井真知子（県埋文センター） 実技研修「縄文土器実測」 <2日目> 事例報告 島田正浩（高岡町教育委員会） 事例報告 桑畑光博（都城市教育委員会） 実技研修「弥生土器実測」	宮崎県埋蔵文化財センター 本館研修室	H12.7.26 ～7.27	市町村担当者 30名
文化財写真研修（遺物写真撮影技術研修） 講師：牛嶋茂氏（奈良国立文化財研究所）	宮崎県埋蔵文化財センター 本館写場	H12.8.2 ～8.4	埋蔵文化財センター 職員

（5）現地説明会

平成12年度は説明会を実施しなかった。

（6）広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として「埋蔵文化財通信 みやざき」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレットの作成をおこなった。

	刊 行 物 名	発行年月
1	宮崎県埋蔵文化財センター年報第4号（平成11年度）	H12.5
2	宮崎県埋蔵文化財センター年報第5号（平成12年度）	H13.3
3	埋蔵文化財センター通信「みやざき」第4号	H12.3
4	平成13年度宮崎県埋蔵文化財センター事業案内	H13.3
5	宮崎県発掘調査情報第22号～第25号	H12.4～H13.3
6	シンポジウム「日向における平安時代の様相」資料集	H12.10

○（7）資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には館内利用（資料の閲覧・実測等）と館外貸出及び掲載許可があり、平成12年度には館内利用が18件、館外貸出が5件、掲載許可が6件であった。

館内利用

資 料 名	利 用 者	利用目的	利用日
塚原遺跡出土縄文土器（赤彩土器）	大地 舜 グラハム・ハンコック サンサ・ハンコック	執筆取材	H12.4.19

資 料 名	利 用 者	利用目的	利用日
竹ノ内遺跡・宮崎学園都市遺跡群・上の原遺跡群出土の黒斑のある縄文土器 宮崎学園都市遺跡群出土の弥生土器（絵画土器）	愛知県安城市教育委員会 岡安 雅彦	資料調査	H12.7.10
矢野原遺跡・妙見遺跡・天神河内遺跡・小山尻遺跡出土の縄文土器（手向山式土器、平椀式土器）	別府大学学生 柳田 裕三	卒業論文作成	H12.7.19
塚原遺跡出土縄文土器（赤彩土器）	市立市川考古博物館 領塚 正浩	調査研究	H12.8.4
堂地西遺跡出土縄文土器（早創期）	法政大学大学院生 鈴木 晃生	修士論文作成	H12.8.19
県内出土の陶質土器	愛媛大学助手 三吉 秀充	資料調査	H12.8.21
堂地西遺跡・赤木遺跡出土の旧石器遺物	岡山大学大学院生 三浦 知徳	修士論文作成	H12.10.5
蔵田遺跡・霧島遺跡・塚原遺跡・堂地西遺跡・岩土原遺跡・本脇遺跡出土の縄文土器（草創期）	立命館大学大学院生 村上 昇	修士論文作成	H12.10.23
小山尻東遺跡出土の土師器、緑釉陶器	熊本県相良村教育委員会 出合 宏光	資料調査	H12.10.27
下田畑遺跡・小山尻東遺跡・田上遺跡・赤坂遺跡ほか出土の縄文時代早期の石鏃	天理大学学生 芝原 知行	卒業論文作成	H12.11.9
県内出土の陶磁器（東南アジア系）	九州大学学生 金子 朋子	卒業論文作成	H12.11.17
県内地下式横穴墓出土の鉄製品・貝輪・滑石白玉	千葉県文化財センター 中央調査事務所副所長 白井久美子	資料調査	H12.11.21 ～11.22
陣ノ内遺跡・熊野原遺跡出土の線刻土器	愛知県安城市歴史博物館 斎藤 弘之	特別展「弥生の絵画倭人の顔」の図録用写真撮影	H12.11.2
県内出土の鉄製品（武器類）	東京国立博物館 古谷 毅 白井 克也 大谷女子大学 犬木 努	文部省科学研究費基礎研究A「日本出土原始古代繊維製品の集成及び基礎的研究」に関する資料調査	H12.11.23 ～11.26
別府原遺跡・前原西遺跡・内屋敷遺跡・堂地西遺跡・白ヶ野遺跡出土の縄文土器（早期）	鹿児島県立埋蔵文化財センター 八木澤一郎 黒川 忠広	資料調査	H13.1.24 ～1.25
矢野原遺跡出土の縄文土器（繊維土器）、早日渡遺跡出土の縄文土器（押形文土器・繊維土器）	別府大学学生 柳田 裕三	卒業論文作成	H13.2.23
王子原遺跡・牧の原第2遺跡・右葛ヶ迫遺跡出土の縄文土器（組織繊維土器）	仙台市地底の森ミュージアム学芸員 平塚 幸人	平成13年度特別企画展資料調査	H13.3.9
神殿遺跡B地区出土縄文土器	中沢 道彦	資料調査	H13.3.10

Q 館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
下屋敷遺跡 遺物 図面 スライド	一式 一式 1ケース	教育研修センター特別研修講座「宮崎県の遺跡」での使用	H12.6.26 ～6.30	宮崎県教育研修センター
平田迫遺跡出土遺物 土師器 甕 布痕土器 杯・皿 須恵器 蓋・杯身 壺 緑釉土器 皿 蔵骨器甕(常滑焼) 瓦 石帯 紡錘車・水晶玉 縄文土器 壺 平田迫遺跡写真 スライド	3点 1点 各1点 各1点 2点 1点 1点 2点 1点 各1点 2点 2ケース	教育研修センター特別研修講座「宮崎県の文化財」での使用	H12.7.31 ～11.8	宮崎県教育研修センター
陣ノ内遺跡出土 土師器壺(絵画土器) 熊野原B遺跡出土弥生土器壺(線刻土器)	1点 1点	みやざき歴史文化館 企画展「宮崎の弥生土器」 展示	H12.7.27 ～9.5	みやざき歴史文化館
竹ノ内遺跡出土遺物 土製円板 土器片錘 石錘 岩偶・石皿 土偶・人形形石器 垂飾 縄文土器(後期) 黒色磨研土器 塚原遺跡出土遺物 縄文土器(赤彩土器) 西都原169号墳出土遺物 壺型埴輪 西都原171号墳出土遺物 大正年間発掘調査石碑 西都原100号墳出土遺物 高杯・壺型土器 日向国衛跡寺崎遺跡出土遺物 平瓦・丸瓦 転用硯 円面硯 墨書のある須恵器杯 墨書のある土師器杯 土師器杯 土師器碗(高台付き) 暗文のある土師器杯 土馬片・紡錘車 石帯	10点 10点 4点 各1点 2点 4点 3点 2点 5点 1点 1点 6点 各1点 2点 1点 1点 1点 2点 1点 1点 各1点 1点	平成12年度特別展 「発掘された日本列島2000 -新発見考古速報展-」 展示	H12.10.25 ～12.12	宮崎県総合博物館
陣ノ内遺跡出土遺物 土師器壺(絵画土器) 熊野原B遺跡出土遺物 弥生土器壺(線刻土器)	1点 1点	安城市歴史博物館開館 10周年特別展「弥生の絵 画 倭人の顔-描かれた 2000年前の世界-」展示	H13.1.23 ～4.5	愛知県安城市歴史博物館

9 刊行物掲載（写真提供）

資料名	掲載刊行物名	依頼者	申請日
国富町塚原遺跡出土縄文土器（赤彩土器）	「月刊 文化財発掘出土情報」 2000年7月号「各地の動向」	株式会社 ジャパン通信情報センター	H12.5.17
都城市大島畠田遺跡出土墨書土器	「都城市史 史料編 古代・中世」	都城市史編さん委員会	H12.10.6
佐土原町下那珂遺跡出土虺龍文鏡	「月刊 文化財発掘出土情報」 2000年12月号「各地の動向」	株式会社 ジャパン通信情報センター	H12.10.13
国富町塚原遺跡出土縄文土器（赤彩土器）	「国富町郷土史」	国富町教育委員会	H12.11.14
延岡市地藏ヶ森遺跡発掘調査風景 延岡市林遺跡全景写真	「延岡市の歴史と文化財」	延岡市教育委員会	H13.2.21
都城市大島畠田遺跡航空写真	生涯学習情報誌 「じゃんD○!」第16号	都城市教育委員会	H13.2.23

（8）研修・体験学習等の受入れ

研修の一環として埋蔵文化財センターの見学や調査現場での体験学習を取入れる学校、教育機関が増加している。平成12年度は高等学校1校、研教育研修センター3回の見学・実習があった。また、運営状況等の視察も6件あった。これ以外にも、多くの各種学校、史談会等が訪れている。今年度は移動県民学校による視察見学もあった。

見学・研修・体験学習

内容	場所	依頼者	実施日	参加者数
特別研修（第一期）施設見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎県教育研修センター	H12.6.29	26名
中部地区農林水産関係者研修	埋蔵文化財センター本館	宮崎県宮崎家畜保健衛生所	H12.7.31	13名
第2回移動県民学校施設見学 （綾光学園）	埋蔵文化財センター分館	宮崎県広報公聴課	H12.7.26	17名
職場体験学習	埋蔵文化財センター本館	宮崎県立宮崎南高等学校	H12.8.3	10名
第6回移動県民学校施設見学 （小林市女性しあわせ学級）	埋蔵文化財センター分館	宮崎県広報公聴課	H12.9.7	30名
免田町文化財保護委員見学	埋蔵文化財センター分館	熊本県免田町教育委員会	H12.10.17	6名
第9回移動県民学校施設見学 （三股町寿大学）	埋蔵文化財センター分館	宮崎県広報公聴課	H12.10.24	30名
第11回移動県民学校施設見学 （飯野小学校家庭教育学級）	埋蔵文化財センター分館	宮崎県広報公聴課	H12.10.31	18名
北方町発掘調査従事者研修	埋蔵文化財センター分館	北方町教育委員会	H12.12.3	22名

内 容	場 所	依頼者	実施日	参加者数
特別研修（第三期）施設見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎県教育研修センター	H12.11.24	26名
県立学校初任者研修	埋蔵文化財センター本館	宮崎県教育研修センター	H13.2.2	79名

⑨ 視察等

来 館 者	来館日	目 的
財団法人和歌山県文化財センター 専務理事 中谷 博昭 事務局次長 吉田 宣夫	H12.4.27	施設の見学
財団法人大阪府文化財調査研究センター 技師 木嶋 崇晴	H12.10.4	遺物整理作業の見学等
熊本県文化課 課長 阪井 大文 参事 木崎 康宏	H12.11.5	施設の見学
財団法人千葉県文化財センター中央事務所 副所長 白井久美子	H12.11.21	保存処理施設の視察

(9) 会議・職員研修

奈良国立文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H12.4.27～4.28	福岡市	岩永 哲夫
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会 (九州地区調査基準作り)	H12.7.18～7.19	佐賀市	吉本 正典
第7回東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査3県協議会	H12.9.5～9.6	宮崎市	岩永 哲夫 面高 哲郎 吉本 正典 和田 理啓
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議	H12.9.28～9.29	島根県松江市	岩永 哲夫
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	H12.11.9～11.10	山梨県春日居町	崎田 一郎 福田 泰典
埋蔵文化財担当職員等講習会	H13.1.23～1.24	千葉市	長津 宗重 草薙 良雄
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会 (九州地区調査基準作り)	H13.1.25～1.26	大分市	長津 宗重
平成12年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修「生産遺跡調査課程」(奈文研研修)	H13.2.15～2.27	奈良市(国立奈良文化財研究所)	和田 理啓
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会 (九州地区調査基準作り)	H13.3.22～3.23	熊本市	吉本 正典 和田 理啓
県地方史研究連絡協議会総会	H12.7.14	宮崎市	岩永 哲夫
県地方史研究連絡協議会秋季大会	H12.11.30	延岡市	岩永 哲夫
西都原資料館再整備検討部会	H13.1.12		面高 哲郎

(10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。特に今年度は学校における「総合的な学習の時間」の取り組みとして小学校1校、中学校1校、高等学校1校から講師派遣の依頼があった。

調査指導等（派遣）

内容	派遣期日	依頼者	派遣職員
「宮崎の歴史文化講座」講師	H12.5.14	みやざき歴史文化館	長津 宗重
宮崎県高等学校教育研究会地歴科・公民科研究協議会中部支部総会講師	H12.5.29	宮崎県高等学校教育研究協議会地歴科・公民科研究会	長津 宗重
高鍋史友会講演会講師	H12.6.15	高鍋史友会	永友 良典
「フレッシュマナー」講師	H12.9.1	宮崎大学教育文化学部	下西 武志
「総合的な学習の時間」講師	H12.9.30	宮崎県立西都商業高校	永友 良典
「総合的な学習の時間」講師	H12.10.21	高鍋町立高鍋西中学校	吉本 正典
「総合的な学習の時間」講師	H12.10.26 11.28	国富町立八代小学校	福田 泰典
奈佐木城跡公園化整備事業に伴う発掘調査指導	H12.11.16 H 13.1.18 2.19 3.8	須木村教育委員会	福田 泰典
平成12年度特別展「発掘された日本列島2000 －新発見考古速報展」講演会講師 ・「スライドでみる東九州自動車道遺跡群の成果」 ・「呪いの赤－赤色顔料とはなにか？」	H 12.11.19 H12.11.26	宮崎県総合博物館	長津 宗重 竹井真知子
日向国衙跡保存整備基礎調査	H 12.11.30	県文化課	吉本 正典
西臼杵郡理科教育研究会講師 (日之影町立八戸中学校)	H12.12.4	西臼杵郡理科教育研究会	松田 清孝
上崎地区遺跡発掘調査指導	H12.12.21	北方町教育委員会	岩永 哲夫
上野原遺跡出土遺物整理指導	H13.3.6 3.19	東郷町教育委員会	菅付 和樹 福田 泰典
町内遺跡確認調査指導	H13.3.19	北方町教育委員会	菅付 和樹

調査等協力（来館）

内 容	期 日	依頼者	場 所
発掘調査従事者研修	H12.12.8	北方町教育委員会	本 館
赤外線カメラによる墨書土器撮影	H12.12.12	小林市教育委員会	本 館

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成 8. 3. 29 教育委員会規則第 5 号)

最終改正 平成 12. 3. 教育委員会規則第 8 号

(趣 旨)

第 1 条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる課を置き、課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く

課	係
総 務 課	総務係
調 査 第 一 課	調査第一係 調査第二係
調 査 第 二 課	調査第三係 調査第四係
普 及 資 料 課	普及資料係

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調 査 第 一 課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調 査 第 二 課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普 及 資 料 課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第 5 条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課の事務を処理する。
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次の通りとする。
 - 第一順位 統括の副所長
 - 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。	
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。	
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。	
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。	

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、その他の職員の職として技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。) 4. 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財 センター分館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月曜日(休日にあたる時を除く。) 2. 休日の翌日(土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く。) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

1. 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 2. 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
 3. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
 4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの。
 6. その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第2号)を所長に提出し、所長の承認

を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成12. 3. 31 教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

(法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名)

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

宮崎県埋蔵文化センター年報第5号
平成13年度（2001）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化センター
880-0212

宮崎郡佐土原町大字下那珂4019

発行月：平成13年9月

印刷：小柳印刷株式会社

宮崎市旭1丁目6-25

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax0985-72-0660
◎佐土原駅（JR）車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分